

平成25年度より臨床工学技士課程設置

工学部は平成25年4月より、国家資格である「臨床工学技士」の受験資格が得られる臨床工学技士課程を機械工学科および電気電子工学科に設置しました。人工心肺装置や人工透析装置、人工呼吸器、心臓ペースメーカーといった生命維持管理装置の操作および保守点検などを行う医療機器のスペシャリスト「臨床工学技士」を養成するもので、医療現場にとどまらず、医療機器開発の最前線での活躍など、将来の進路は大きく開かれています。

日本大学工学部紹介番組が放送されました

昨年福島中央テレビで放送された「福・工・学」のセカンドシーズンが、今年も4月5日(金)から6月28日(金)にかけて計13回放送され話題となりました。



東北地区大学体育大会壮行会

6月4日(火)、平成25年度東北地区大学体育大会壮行会が行われました。今大会に出場する体育会所属11団体を代表し、水泳部の小林遼さんが、力強く選手宣誓。その誓い通り、各団体とも見事な活躍ぶりを見せてくれました。



春の徳定川清掃

今年で14年目を迎える徳定川清掃が6月8日(土)に行われました。土木工学科の水環境について学ぶ研究室を中心に、学生・教員のほか、卒業生や企業の方々を含む約40名が参加。地域環境を守る活動の輪が広がっています。



まちづくり事業提案アイデア部門で優秀賞受賞

建築学科4年の遠藤一成さん(写真左)と山本彰記さん(写真右)が、大阪府吹田市・吹田歴史文化まちづくり協会主催、「これからの浜屋敷〜古民家を生かしたこれからのまちづくり事業提案〜」のアイデア部門(将来的に開催可能な企画提案や新たな方向性を感じさせるコンセプト提案)において優秀賞を受賞しました。



汚染土回収プロジェクト公開実験

6月29日(土)、工学部ふるさと創生支援センターは企業と共同で汚染土回収プロジェクトの一般向け説明会と公開実験を行いました。同プロジェクトは、除染作業者が安全かつ迅速に側溝などから汚染土を回収できるよう研究・開発を進めており、今回はその第1弾として開発した「側溝を対象とする沈降汚泥回収システム」を使用して、工学部内に設置したモデル側溝で汚染土回収作業を実演しました。



工学研究所 NEWS

平成25年度「イブニングセミナー」開講

健康で持続可能な生活スタイルを支える「ロハスの工学」を用いた工学部の取り組みを紹介する「イブニングセミナー」を、5月9日(木)から7月25日(木)にかけて計11回開催しました。各学科の教員が、それぞれ福島県の復興を支えるためのさまざまな工学技術の研究について解説。学生だけでなく企業や一般の方々も参加され、今後の復興に役立つ有意義なセミナーとなりました。



□ 人事

新採用

電気電子工学科 教 授 瀧 田 聡 (平成25年4月1日付)	電気電子工学科 教 授 渡 部 仁 貴 (平成25年4月1日付)	情報工学科 教 授 松 村 哲 哉 (平成25年4月1日付)	総合教育 教 授 和 田 耕 治 (平成25年4月1日付)	土木工学科 特任教授 永 田 進 (平成25年4月1日付)	建築学科 教授(任期制) 湯 本 長 伯 (平成25年4月1日付)
総合教育 准教授 荒木田 英 慎 (平成25年4月1日付)	総合教育 准教授 宮 田 公 治 (平成25年4月1日付)	土木工学科 助 教 手 塚 公 裕 (平成25年4月1日付)	機械工学科 助 教 田 中 三 郎 (平成25年4月1日付)	機械工学科 助 教 宮 岡 大 (平成25年4月1日付)	総合教育 助 教 種ヶ嶋 尚 志 (平成25年4月1日付)

総合教育 助 教 山 田 隆 行 (平成25年4月1日付)	学生課 見習職員 保 坂 脩 斗 (平成25年4月1日付)	図書館事務課 見習職員 秦 雅 (平成25年4月1日付)	教務課 嘱 託 入 谷 隆 一 (平成25年6月1日付)	役職任命 図書館事務課課長補佐 参事補 高 橋 史 典 (平成25年5月1日付)	教務課主任 主 事 林 修 (平成25年4月1日付)
-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---	----------------------------------

経 営 機械工学科 教 授 佐々木 直 栄 (平成25年4月1日付)	機械工学科 教 授 彭 國 義 (平成25年4月1日付)	電気電子工学科 教 授 石 川 博 康 (平成25年4月1日付)	情報工学科 教 授 岩 井 俊 哉 (平成25年4月1日付)	学生課主任 主 事 佐久間 誠 剛 (平成25年4月1日付)	異 動 高校事務課(異動元:研究事務課) 書記補 澤 井 直 樹 (平成25年5月1日付)
---	------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------	--

情報工学科 准教授 溝 口 知 広 (平成25年4月1日付)	総合教育 准教授 玉 置 孝 至 (平成25年4月1日付)	研究事務課 参事補 桑 原 学 (平成25年4月1日付)	管財課 主 事 補 佐 藤 貴 士 (平成25年4月1日付)	退職(定年) 機械工学科 教 授 加 藤 康 司 (平成25年7月31日付)
--------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	---

就職指導課
主 事 補 矢 代 家 康
(平成25年4月1日付)

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

2013 No.238 平成25年7月26日

編集:日本大学工学部広報委員会

発行:日本大学工学部 TEL (024) 956-8618

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1

http://www.ce.nihon-u.ac.jp E-mail koho@ao.ce.nihon-u.ac.jp

ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。



この印刷物は
再生紙を使用しております。



この印刷物は
再生紙を使用しております。

No.238
2013.7.26

未来へ語り継ぎたいものがある



工学部広報



CONTENTS

新入生特集 新入生×目標 P1-2 新入生行事紹介 P3-4

在学生レポート P5-6
海外レポート P7-8
工学部就職情報 P9-10

学科の魅力に迫る! P11-13
新大学院生に聞きました! P14
研究特集 P15-16

平成25年度科学研究費補助金交付者 P17
平成25年度父母懇談会 P18
工学部だより P19

新入生 × 目標

新入生特集

入学して3か月余りの新入生。
これからの大学生活をどう過ごしていきたいか、
現在の心境とともに、新入生の思いに迫ります。



✓ 大学生だからできることに挑戦したい

樽谷 一郎さん（土木工学科・広島県出身）

鉄道マニアだったことがきっかけで、交通工学に興味を持ち、それが工学部への入学につながりました。正直、郡山がどんな所か全く知りませんでしたが、ここに来てたくさんの友人ができ毎日楽しくて、今は自分に合った大学に入って良かったと思っています。意外にも測量が得意だという発見もありました。大学生だからできることに、どんどん挑戦していきたいです。

目標



目標はもちろん、鉄道関係の職に就くこと。今は鉄道研究会に入り、多くの仲間から鉄道に関するあらゆる知識を吸収しています。

✓ 本当に学びたい建築の勉強なら頑張れる

糸賀 成美さん（建築学科・茨城県出身）

大学とその周辺の環境の良さが工学部を選んだ決め手です。でも工学部は女子が少ないので、友人ができるかどうか心配でしたが、授業や吹奏楽部でさまざまな仲間との交流ができ、今では“大学って楽しい！”という印象に変わりました。勉強嫌いの私でも、本当に学びたい建築のことなら頑張れると思います。建築物をたくさん見て、視野を広げたいです。

目標



インテリアプランナーになることが目標です。また、建築を通して復興に貢献できるようになりたいと思っています。

✓ 人との出会いを大切にしたい

遠藤 詩織さん（機械工学科・福島県出身）

もともと飛行機に興味があり、機械工学科なら流体力学など飛行機に関する知識が学べると思い、工学部を選びました。機械工学分野なら幅広い道があるから、就職に有利というのも理由の一つ。工学部はキャンパスがきれいで、活気があり、勉強に集中できる環境が整っていると思います。これからは、いろいろな人と出会い、そのつながりを大切にしていきたいです。

目標



親に負担をかけないために、奨学金をもらえるように勉強を頑張ります。教員免許取得も目標にして、将来やりたいことを見つけたいです。

✓ 代替エネルギーについてもっと学びたい

目標

高野 桜さん（電気電子工学科・福島県出身）



将来は、生徒に感謝される教員になりたい。そのために人とふれあう機会をたくさん作り、復興活動にも携わっていききたいと思っています。

高校の担任の先生から話を聞き、ロハスの工学に強く関心を持ちました。工学部で太陽光や風力など原子力に替わるエネルギーについて、もっと学びたいと思っています。工学部には他県出身者が多く、地元福島県出身の私としては嬉しく思うとともに、刺激し合える環境もプラスに感じています。入部した陸上競技部では競技だけでなくボランティアにも参加。地域に貢献できるのは大きな魅力です。



✓ 自分を成長させることが目標

目標

菅野 貴裕さん（生命応用化学科・福島県出身）



全科目で評価A以上を取ること、自分がやりたい研究を見つけることが目標です。さまざまな経験をして自分を成長させたいと思っています。

学習環境も就職サポートも充実しているのが、工学部の魅力。興味のあったものづくりや化学のことをもっと深く学びたいと思い、生命応用化学科に決めました。入学前の印象と違って、先生は気さくでとても親身な方ばかり。だから講義も毎回楽しみです。真剣に勉学に取り組みながら、社交的な性格になって友人を増やし、楽しい大学生活にしていきたいです。



✓ 医療介護ロボットの開発に携わるために

目標

渡邊 亮さん（情報工学科・福島県出身）



基本情報技術者試験やその上の応用情報技術者試験に挑戦するほか、TOEICやTOEFLの英語力も身につけることが目標です。

医療介護ロボットを開発したいという夢を叶えるために、工学部に入って正解でした。最先端医療工学の研究拠点である次世代工学技術研究センターには、素晴らしい設備が整っています。受講している課外講座「バイオメディカル工学を学ぶ」で、その医療機器に触れることができました。もちろん、ロボット開発に必要なプログラミングの知識も高めていくよう勉強も頑張っていきます。



大学生活を思いっきり楽しもう!! 新入生を歓迎するイベント満載!

工学部では、新入生が早く大学に慣れ、
充実した学生生活が送れるように、さまざまなイベントを開催しています。



EVENT 1 開講式

約1,200人の仲間とともに迎えた開講式。大きな希望と少しの不安を抱きつつも、大学生になったことを実感!いよいよ大学生活のスタートです。



学生掲示板

- ★日本大学校歌のように『日に日に新たに』頑張ります!
- ★ここ福島から世界に羽ばたきたい!



EVENT 2 新入生学外研修

1泊2日で行われた研修では、各学科に分かれて県内の観光地や施設を見学。友人ができた、仲間の輪が広がったり、思い出に残る楽しい研修になったようです。



学生掲示板

- ★いろいろな出身地の友人ができました。方言が面白い!
- ★いい人ばかりで安心しました。これからもヨロシクお願いします!



EVENT 3 サークル勧誘

70号館1階を会場に、1週間の期間限定で行われたサークル勧誘では、先輩たちの熱意に圧倒された新入生たち。体育会・学術文化サークルなど、工学部には約80の団体があり、それぞれ活発に活動しています。



学生掲示板

- ★勉強だけでなく、スポーツもやりたい。
- ★フットサルやスキークのサークルは先輩も優しく楽しそう!



新入生特集

EVENT 4 フレッシュマンセミナー

1年生を対象に行っているフレッシュマンセミナー。第1回目は医療割引制度や学生相談室など工学部のサポート体制や学生生活における注意事項をレクチャー。ソーシャルメディアの使い方講座では、新入生も真剣に聞き入っていました。



学生掲示板

- ★ツイッターなど、インターネットを利用するときに、大変役立つ情報でした。
- ★大学生活は楽しいことばかりだけど、危険な落とし穴もあるから気をつけます!



EVENT 5 教養講座

毎年、業界の第一線で活躍する著名人を迎えて行われる教養講座。「イグノーベル賞」を受賞した(独)産業技術総合研究所メディアインタラクション研究グループ主任研究員の栗原一貴氏による第3回目の講座では、「人々を笑わせ、そして考えさせるものを創る」がテーマ。興味深い研究・創作活動の話は、笑いあり、感動ありの楽しい講義でした。

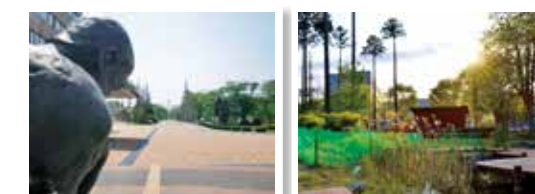
学生掲示板

- ★ノーベル賞だけではなく、理系研究者の活躍の場を見られて勇気づけられました。
- ★テレビで見たこともあったけど、生で話を聞くことができてとても面白かったです。



EVENT 6 フレッシュマンフォトコンテスト

「ロハスを探せ!」をテーマに1年生を対象としたフォトコンテストを開催。応募された15点の中から学部長特別賞に選ばれたのは、情報工学科1年の三瓶貴広さんの作品「think」(左)、最優秀賞は機械工学科1年の大竹佑哉さんの作品「夕暮れの心静緑感広場」(右)でした。



学生掲示板

- ★ロハスとは、考え続けることではないかと思いました。
- ★卒業する時には自分なりにロハスの答えを見つけたいと思っています。



EVENT 7 第2回体育祭

学年・学科・所属サークルを越えて熱い闘志をぶつけ合う「体育祭」。今年は建築学科や機械工学科の1年生チームも参戦し、騎馬戦では先輩たちに果敢に挑み、障害物リレーでは笑いをまき散らし、仲間との絆を深めながら、競技を盛り上げました。優勝は硬式野球部1年生チーム。身体能力の高さを武器に、期待通りの強さを発揮してくれました。

学生掲示板

- ★親睦を深める絶好の機会。参加できるイベントは何でも挑戦して、充実した大学生活にしたいと思います。
- ★来年もこのメンバーで出たい!優勝を狙いたい!



2年生の場合

目標に向かって基礎固めと自分磨き

教員になる夢を叶えるために、工学部へ入学。2年次前期から教職課程を履修しています。硬式野球部のマネージャーとしてサークル管理や大会運営に関わり、教員に必要な技能を磨いています。アルバイトをしているのも社会勉強の一環です。いろいろな人との出会いも刺激的でプラスになるから大切にしています。

橋本 葵さん
(建築学科/福島県出身)

Time Line

Monday→Friday

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月	建築材料学I	応用力学I演習	建築情報処理演習III	建築情報処理演習III		職業指導I(教職課程)
火	構造力学I演習		建築構法II		英語コミュニケーションI	
水	建築材料実験	建築材料実験	建築設計演習I	建築設計演習I	建築意匠設計I	
木	応用力学I	建築環境工学I		英語講義I		
金	道德教育の理論と方法(教職課程)	住宅計画	日本建築史	構造力学I	木材加工I(教職課程)	
土	工業科教育法I(教職課程)	技術科教育法I(教職課程)	金属加工(教職課程)	金属加工(教職課程)		

8:20
通学(自転車)

9:00
授業
(建築材料実験など)

Saturday・Sunday
教職の授業 & 硬式野球部の大会 or アルバイト

12:10
昼食

10:30
課題(図書館)

13:00
授業
(建築設計演習など)

20:00
帰宅

16:20
教職課程



授業の合間に図書館でレポート作成



課題で制作した模型



硬式野球部のマネージャーとして大会にも参加



教職課程の木材加工の実習で椅子づくり挑戦

4年生の場合

研究・就活・サークル等、悔いのない大学生活にする

電気の知識を活かしてサービスエンジニアになることを目指し就活に励むとともに、第三種電気主任技術者の資格取得の勉強にも取り組んでいます。所属する光工学研究室では、テラヘルツ分光の研究を進めるために、機器の操作技術を習得中です。4年間続けてきたソフトテニスの大会にも出場。大学生活に悔いのないよう頑張っています。

石川 和希さん
(電気電子工学科/茨城県出身)

Time Line

Monday→Friday

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月						
火			電気電子特別実験	電気電子特別実験	電気電子特別実験	
水						
木						
金		電気法規・施設管理				
土						卒業研究(電気電子)

8:30
通学(自転車)

9:30
研究
(光工学研究室)

18:00
サークル
(ソフトテニス部)

21:00
帰宅

10:30
授業
(電気法規など)

12:10
昼食

13:00
研究or授業
(電気電子特別実験など)



光工学研究室でテラヘルツ波について研究中



ソフトテニスの大会に向けて猛練習の日々



4年生の授業は電気法規や実験など、より専門的に学ぶ

Live A Full Life! 在学生リポート

私たちがキャンパスライフ!

3年生の場合

専門知識と技術を高め、就職の準備を整えていく

実験・実習の授業も増え、専門知識や技術をどんどん吸収していく3年生。一方で、就職への準備も始まっています。将来の夢は、鉄道設備関連の仕事に就くこと。公務員も視野に入れて、工学部で実施している対策講座を受講しています。息抜きは、サッカーやボウリングで体を動かすこと。リフレッシュ効果抜群です。

義本 秀一さん
(土木工学科/栃木県出身)

Time Line

Monday→Friday

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月	海岸・港湾工学		河川・砂防工学			
火	コンクリート構造学及び演習	水理学I及び演習	社会基盤計画学			
水	環境地盤工学	コンクリート構造学及び演習	水質実験	水質実験	水質実験	
木	水処理工学		水質実験	水質実験	水質実験	
金	水理学I及び演習	鋼構造学	製図及び基礎CAD	製図及び基礎CAD	経済学I	
土						

8:50
通学(自転車)

9:00
授業
(コンクリート構造学など)

20:00
帰宅

18:00
サークル
(サッカー部)

12:10
昼食

13:00
授業
(水質実験など)



コンクリート構造学など土木の専門分野の授業



昼食はいつも学食。お気に入りのメニューでランチ



毎週日曜に行われている公務員試験対策講座



サッカー部でのポジションはボランチ

大学院生の場合

研究漬けの日々から論文の完成に向かって

自分の時間を自由に使って、好きな研究に没頭できるのは大学院生の特権。「探索歩行時の注視に関する研究」は、街路空間を対象にした調査研究だから、面白くてやりがいがあります。TAで学部生を指導しながら、教える力も身につきました。これから最終目標の論文完成に向かって、まだまだ研究漬けの日々は続くのです。

薄井 謙さん
(建築学専攻/栃木県出身)

Time Line

Monday→Friday

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月						
火						
水						
木	TA(建築設計演習III)	TA(建築設計演習III)	TA(建築設計演習III)	TA(建築設計演習III)	TA(建築意匠設計I)	
金						
土						

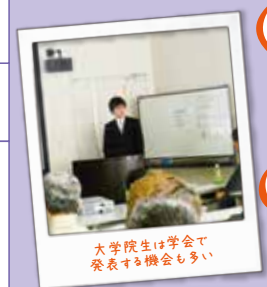
10:50
通学(自転車)

11:00~21:00
研究
【都市計画(都市・環境デザイン)研究室】

21:00
帰宅



膨大な調査データの取りまとめも重要な作業



大学院生は学会で発表する機会も多い



TAを担当する機会は学部生の指導にもある

Saturday・Sunday
調査などのフィールドワーク



仙台のアーケードで行った探索時の注視行動調査



異国の文化を知ろう！

グローバル化が進む現代社会。今後ますます海外との交流やビジネスチャンスが増えてくるものと考えられます。そこで、海外留学や海外研修などで異国文化に触れた方々の体験記を通して、世界を知ることの楽しさや面白さをお伝えします。

Overseas Report



海外で生きていける自信がついた — タイ王国短期留学体験記 —

電気電子工学科5年 **黒澤 智則さん**

今後海外で生活し、海外で働くことを望んでいたことが、海外留学を決めた大きな理由の一つです。英語の授業で川崎和基先生から留学の話聞き、自分も海外で勉強できるチャンスがあることを知ったのがきっかけになり、1年間休学してタイへの留学を決めました。



最初の5か月間は、平日タイの語学学校と英語の語学学校に通い、土曜日は大学で英語を学べる講座を受けたりしていました。5か月が過ぎた頃からタイ人に日本語を教えるようにもなりました。

タイは発展途上国の中でも、経済的に勢いのある国の一つで、バンコクにはたくさんの方が居住しています。移動手段には車やバイクの他、バスや電車も使われるため、日本のテレビでも時々放映される東南アジアの渋滞の画を日常的に体験することができました。



タイの暦で新年の4月中旬には、タイ全土で水かけ祭りが行われます。道行く人々に水をかけたりかけられたりする祭りで、私も参戦しました。偶然にも以前知り合った友人と道端で会い一緒に会場を回ったことは、印象的なエピソードの一つ。それから道行く人と話をするうちに友だちになり、とても良い思い出となりました。

留学を経験して、私には興味の対象がたくさんあることと、行動が人生というものを形作っていくことを知りました。そして、海外のこういった環境の中でも生きていけるという自信ができました。

与えられたたくさんの選択肢に対し興味を存分に注ぎ、どんな場面でも最善の行動を取るよう心掛けていこうと思っています。



Overseas Report



ヨーロッパの歴史 — ヨーロッパ研修旅行体験記 —

情報工学科4年 **中西 真美さん**



日本とヨーロッパの文化的な違いはなぜ生まれたのでしょうか。ヨーロッパの歴史を知ることで、何か解るのではないかと思います。ヨーロッパ研修に参加しました。

今回の研修ではヨーロッパの有名な教会や美術館、お城や広場をたくさん見てきました。そして、全ての場所でヨーロッパの歴史を感じることができました。では、なぜ私は歴史を感じることができたのでしょうか。たぶんそれは、宗教的なものが大きく関係しているのだと思います。例えば、ヨーロッパの有名な建物には彫刻や絵画、ステンドグラスなどがありましたが、その内容の多くが、聖書の内容を描いたものでした。言ってしまうと、町中が昔話で溢れていたのです。だから私は歴史を感じました。

その他にも、キリスト教の決まりごとで、日曜日は休日なので、ほとんどのお店が閉まっていたりしました。日曜日になると人々は教会に行き、神に祈りを捧げるのです。それは技術が進歩しても変わらない文化として街に根付いていました。このようにずっと昔から今まで続いている習慣がヨーロッパにはたくさんありました。

日本では、宗教があまり強く意識されていないので、普段の街並みが多様になっていて、神社や仏閣に行かないと、なかなか日本の歴史を感じることができなくなっているのです。

このようにヨーロッパと日本の文化の違いは、歴史を見ることが、宗教と関わりが強いということがわかりました。



Overseas Report



仲間の大切さを実感 — 留学生体験記 —

建築学科3年 **沈 得程さん** (マレーシア出身)

日本に留学したのは、兄が日本にいたこととアジアのトップの日本で勉強したいと思ったからです。工学部は環境が良く、勉強に集中できるところが魅力でした。入学時は土木工学科でしたが、都市計画を学びたかったので2年次から建築学科に転科。製図の課題が大変で、どうやって書いたらよいかわからず、途中で諦めようと思ったこともありましたが、自分で決めた道だから、せっかくやりたかった建築の勉強ができるのだから、もう少し頑張ってみようと思い直しました。時間は掛かりましたが、それでも出来上がった時は、とても嬉しかったです。自分にもできることがわかり、諦めなくて良かったと思いました。



一人暮らしは初めてなので、家族と離れて寂しく感じることもあります。でも、異文化コミュニケーション研究会に入り、日本だけでなく、タイや中国などたくさんの友だちができました。さまざまな文化交流も体験できます。

いろいろな人と出会い、苦手だった人との付き合い方も身につく、人間的にも成長できたと思います。

四季があり、風景とともに時間の経過がわかるのは、日本ならではの良さ。春は花見、冬はスノーボードなどそれぞれ季節によって楽しみ方があって面白い体験もできます。

日本での体験を通して、仲間の大切さを改めて認識できました。もっと知識を得て、優れた人と話をしてレベルアップしていきたいと思います。



Overseas Report



米国の大学生が工学部を訪問



5月14日(火)、米国テキサス州にあるセントメアリーズ大学の学生11人が、研修旅行の一環として工学部キャンパスを訪問しました。初めて来日するという学生たちでしたが、震災にあった福島を是非とも訪れたいという思いがあったことから実現した企画です。日本が抱える将来の労働問題についても学びたいということで、工学部総合教育のマイケル・S・ナイバーク教授が地域社会の一つのモデルケースとして福島を取り上げ、レクチャーを行いました。

その後、工学部サークルの異文化コミュニケーション研究会の学生10数名との交流会を開催。工学部の学生も絶好のチャンスとあって、積極的に英語でコミュニケーションを図り、最後にはメールアドレスを交換するほど打ち解けていました。



続いてロハスの家に案内し、工学部の特色である「ロハスの工学」にも触れていただきました。ロハスを体現し、最先端の工学に取り組んでいることに驚嘆するとともに、日本人のホスピタリティ精神に大いに感銘を受けたようでした。

最後のセレモニーでは、みんなで記念撮影とプレゼント交換を行いました。半日ではありましたが、大変有意義な研修だったという感想をいただき、福島にある大学としての役割を果たすことができたと感じています。工学部の学生にとっても、大変貴重な国際交流体験となりました。今後もさまざまな形で、学生の語学学習や海外留学を支援しサポートしていきます。



工学部の就職支援を 活用しよう！

工学部の平成24年度就職実績は、学部で95.0%、大学院で98.1%と大学新卒者の厳しい就職状況の中でも、高い水準を誇っています。日本大学全14学部の中でも薬学部に次いで2番目に高い実績となりました。

平成24年度の各学科別の就職状況及び公務員・教員採用状況を示すとともに、企業からの声など、今後の就職活動について紹介します。

厳しい
就職状況の中、
前年度の実績を
上回る

●平成24年度就職率95.3%(学部・大学院含む)

平成24年度工学部対象の求人数は、昨年から2割増加し、約10,000社でした。就職率も昨年を上回る95.3%でした。特に理工系の求人が増えていたことが好結果につながったものと思われます。全卒業者における進路決定率を見ても、85.88%(9月卒含まず)と、全国平均をはるかに上回る実績をあげています。これは日本大学の中でも薬学部に次ぐもので、3つの理工系学部でもトップの数字です。公務員・教員採用に関しても、前年度を上回っています。

平成24年度 学部・大学院 就職状況	区分	学科・専攻	土木	建築	機械	電気	物質	情報	合計
	学部	就職者数	95	158(24)	176(1)	165(3)	102(27)	139(16)	835(71)
		就職率	100%	95.8%	95.7%	94.8%	94.4%	90.8%	95.0%
	大学院	就職者数	4	21(3)	28	12	16(3)	22	103(6)
		就職率	100%	100%	100%	100%	94.1%	95.7%	98.1%

※物質化学工学科は現在の生命応用化学科 () 内女子数

平成24年度 公務員・教員 採用状況 (学部・大学院含む)		土木	建築	機械	電気	物質	情報	合計
	公務員	16	8	15	8	10	11	68
	教員	5	2	2	1	7	1	18

●平成26年3月卒業・修了見込者への就職支援

昨年同様、企業側が学生をじっくり吟味している傾向があり、内定が出る時期が今までより遅くなっているため、これからもまだ動きがありそうです。学生自身もしっかり企業を研究し、選んでいく必要もあります。

6月に第2回工学部就職セミナーを開催しましたが、県内だけでなく、東北・関東・近畿・中国まで、全国から245社の企業が参加しました。今後も就職セミナーを行いますので、内定が出ていない学生は、ぜひ参加してください。また、一人で焦らず、就職指導課や各学科の就職指導委員に相談することが大切です。

就職行事
スケジュール

10/16(水) 日本大学本部(東京)
12/11(水) 日本大学合同企業セミナー
10/19(土) 工学部キャンパス
第3回工学部就職セミナー



最後まであきらめずに向き合うことが大事

約600社が集まる 工学部就職セミナーを有効活用

工学部独自の就職セミナーは年3回6日間にわたり開催され、約600社が参加しています。学部独自では全国でも最大規模を誇るセミナーで、工学部の学生に対する企業の期待の大きさがわかります。内定につながる割合も高く、学内にいながら、多くの企業の人事担当者と面談できることは大きなチャンスです。



企業からの声

Voice 1



パナソニック株式会社
畠山 慧子 氏

当社が求めるのは、「尖った強み」「やり抜く力」「高い志」を持った人材です。専門分野の知識や技術はもちろん、粘り強い行動力やコミュニケーション力、熱い思いなど自分の強みを持つことが重要な鍵を握ってきます。家電を中心とするコンシューマー事業がクローズアップされがちですが、実はデバイス事業・ソリューション事業が70%を占めています。工学部の学生の皆さんには、研究開発や設計開発、生産技術の分野での活躍を期待しています。

Voice 2



三菱化学エンジニアリング株式会社
筈部 雅史 氏

これまでのように数多くエントリーするのではなく、興味のある会社を絞り込んでいる状況が見られます。その分、直接話が聞ける説明会への参加が増えているようです。当社は社名から化学系の人材しか採用しないイメージがあるかもしれませんが、プラントの建設に携わる建築系や機械・電気系など、幅広い人材を求めています。名前で選ぶのではなく、企業情報を収集し業務内容をしっかり把握したうえで、会社を選んでいくことが大切だと思います。

就職指導課に相談しよう

就活がなぜうまくいかないのか、その原因がわからなければ、いつまでも同じことを繰り返してしまうでしょう。就職指導課には専門スタッフがおり、学生一人ひとりの相談に応じていますので、一人で悩まず必ず相談してみてください。エントリーシートの添削、人事や社長宛ての手紙の出し方、模擬面接など、的確なアドバイスや指導も受けられます。就職指導課の他、就職指導委員や研究室の先生方に相談することで、道は拓けてくるはずです。



就職ガイダンス・就職試験対策等スケジュール

月 日	行事内容
9/21(土)	第4回就職ガイダンス「理系学生のための業界・企業・職種研究対策講座」
//	就職力講座ガイダンス
9/28(土)	第5回就職ガイダンス「志望動機につながる企業研究講座」
//	就職力講座①
//	就職常識試験
10/5(土)	第6回就職ガイダンス「理系女子のための就活講座」
//	就職力講座②
10/12(土)	第3回インターンシップガイダンス「インターンシップ体験者報告会」
//	就職力講座③
//	第3回SPI模擬試験
10/19(土)	就職力講座④
11/2(土)	第7回就職ガイダンス「エントリーシート・履歴書対策講座」
//	日本語能力試験

月 日	行事内容
11/2(土)	就職力講座⑤
11/9(土)	第8回就職ガイダンス「面接・グループディスカッション対策講座」
//	第2回エントリー試験
//	就職力講座⑥
11/16(土)	就職力講座⑦
11/30(土)	第1回実践模擬面接「集団面接・グループディスカッション」
//	就職力講座⑧
12/7(土)	第9回就職ガイダンス「ライバルと差をつける!就職セミナー活用講座」
//	クレベリン検査
1/11(土)	第2回実践模擬面接「個人面接」
1/25(土)	第10回就職ガイダンス「まだ間に合う!就職ガイダンス総まとめ講座」
10月～12月	キャリア研究講座(4回)
11月～12月	業界別就職セミナー・就職活動体験発表会

公務員試験対策講座等スケジュール

月 日	行事内容
9/3(火)～6(金)	夏期特別集中講座 1～3年次生対象
9/17(火)	第2回公務員ガイダンス 全学年対象
9/21(土)～12/21(土)	基礎コース 主に1・2年次生対象
9/22(日)～12/21(土)	実践コース② 主に3年次生対象
11月下旬	第2回日本大学一斉公務員模擬試験 全学年対象
12/21(土)	第3回公務員ガイダンス「公務員合格者体験発表会」全学年対象

月 日	行事内容
2/15(土)～28(金)	実践コース③ 主に3年次生対象
3月下旬	全国版公務員模擬試験 3年次生対象
3/11(火)～14(金)	春期特別集中講座 3年次生対象

CSNavi(Career & Skill up Navigation System)の求人情報や就職行事など工学部の就職支援はどこよりも充実しています。この支援を有効に活用しながら、希望の就職に向けて頑張ってください。

土木工学科の魅力はコレだ！

道路や橋やまちをつくり、災害を防ぐ土木は人々の暮らしを支える仕事

大石 一貴さん

土木工学科 4 年
交通計画研究室

日本大学という知名度と就職率の高さが入学の決め手。一般企業だけでなく、公務員を目指す人のためのサポート体制も万全だから、きっと希望の就職を叶えられると思います。東日本大震災を経験して、災害に強いまちづくりへの関心が高まりました。東海地震の発生が懸念される地元静岡県で、地域づくりに貢献できる公務員になりたいと考えています。



研究なら now researching

東日本大震災によって痛感したことの一つは、救援や物資を輸送するための道路網の重要性です。私は福島県内道路網に対する東日本大震災後の復旧過程の検証について研究しています。地震に強い道路ネットワーク整備計画に発展させることが目標です。

建築学科の魅力はコレだ！

技術と芸術を融合して街に息吹を吹き込む人と生きる建物を造るのが建築の役割

篠井 涼さん

建築学科 4 年
都市計画第一研究室

建築士の資格を取得するために工学部建築学科に入りました。伸び伸びと勉学に励むことができる環境の良さと設備が充実していることも魅力的でした。将来は二級さらに一級建築士の資格を取得することが目標です。都市計画やまちづくりについて学んだことを活かせる職に就き、人々の生活を支える一端を担うことができるようになりたいと思っています。



研究なら now researching

郡山を対象に、中心市街地の活性化を図るために、街なか居住やオープンスペースの配置などについて研究しています。4年間の学業の集大成として積極的に取り組みながら、より一層知識を深めていきたいと思っています。

土木工学科 4 つの特徴 >>>>

I 大規模な実験ができる装置が充実

1/40のスケールの津波を再現できる循環式傾斜可変水路装置や日本に数台しかない走行荷重試験装置など大規模実験が可能な魅力ある設備が整っています。間近で見る実験の様子は迫力満点でした！



II 実習や実験が多いのは土木工学科ならではの魅力

測量実習やさまざまな水質実験、材料実験などの実習・実験が多いのは、土木工学科ならではの魅力です。グループに分かれて仲間と協力し合っ

III 面倒見の良さと能力を伸ばす指導力

分からないことは丁寧に教えてくれる面倒見の良さに加え、私たちの能力を伸ばしてくれる先生方の指導によって、実践的な技術者に成長できます。



IV 土木工学科独自の公務員試験対策講座

土木工学科独自の公務員試験対策講座もあります。実際に過去に出題された試験問題の解説や傾向についての講義で、公務員を志望する私にとっては大変役立ちました。



建築学科 4 つの特徴 >>>>

I 一人に一台製図台があるのは魅力

製図室がいつでも自由に使えることや製図台が一人に一台あることは、他大学にはない魅力です。コンクリート破壊試験機や多軸加力装置などが揃っている、高度な建築実験もできます。

II 建築物や工事現場の見学会も充実

授業の一環として、美術館や博物館などの建築物や実際の工事現場を体験する見学会があります。設計に役立つ実践的な知識や技術を学べるだけでなく、施工管理の仕事についても知ることができます。



III 実績のある先生方や業界で活躍する講師陣

幅広い研究実績を積んだ、さまざまな分野の先生方が揃っているから、どんな研究にも挑戦できます。また、建築業界の第一線で活躍する講師の方から指導を受ける機会が多いのも、建築学科の魅力的な特色です。

IV 一級・二級建築士の資格取得への近道

卒業条件を満たせば、二級建築士試験を卒業年に受験できるのは大きなメリット。また、実務経験2年以上で一級建築士試験も受験できるので、資格取得への近道になります。



機械工学科の魅力はコレだ！

機械・熱・材料・流体の4つの力学によってひとつの物を作りあげる機械工学

門脇 良輔さん

機械工学科 4 年
バイオメカニクス研究室

自動車に興味があった私は、オープンキャンパスで見たバイオメカニクス研究室に惹かれて工学部に入りました。最近は環境性能が重視されている自動車産業において、安全装備や性能も見逃せない大切な要素。研究に携わりその重要性を実感しました。ここで学んだことを活かして、事故のない安全な自動車社会に貢献できればと思っています。



研究なら now researching

ドライブレコーダーを積んだ専用の自動車を使って、人の運転時の反応状況データを収集し分析するフィールドテストを実施。人に安全な自動車を開発することを目標に研究に取り組んでいます。

機械工学科 4 つの特徴 >>>>

I 工作機械が豊富な機械工作実習室

実験・実習の授業で利用する機械工作実習室には、旋盤などの物を作るための工作機械が豊富に揃っています。各研究室にも実験設備や機器があり、最先端の研究ができることも機械工学科の魅力です。



II 専門分野の技術を実践的に学べる

エンジニアとして社会で活躍された先生方が多く、専門的なことを深く学べる環境が整っています。また、企業とのパイプも強く、共同研究により実践に近い技術を学ぶことができます。

III ものづくりの面白さを体験

実験や実習は初めて経験することばかりで、とても刺激的でした。ひとつの物を何種類もの工作機械を用いて作りあげていく楽しさを体験したり、実験によって得られた結果から考察する面白さも学ぶことができました。



人を工学的・力学的観点から解析する学問であるバイオメカニクス、ロハスのための再生可能エネルギーやサステナブル機械の研究など、他大学にはあまりない最先端の研究分野があります。



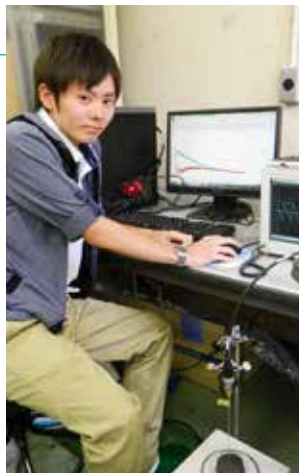
電気電子工学科の魅力はコレだ！

電気エネルギーから電子情報通信までさらに臨床工学技士など広がる活躍の場

岡部 太一さん

電気電子工学科 4 年
マイクロ波工学研究室

ものづくりや家電製品の仕組みに興味があったことや、電気電子工学科なら電気エネルギーから電子情報通信まで、幅広い分野の専門知識を身につけることができると考えて選びました。人々の暮らしがより豊かになるような製品を作るエンジニアになりたいと思っています。そのために、第三種電気主任技術者の資格取得と英語力向上を目指しています。



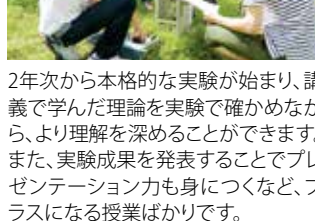
電気電子工学科 4 つの特徴 >>>>

I 各研究室には特徴的な実験装置がある

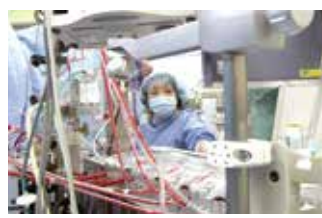
それぞれ研究室ごとに、必要な実験装置が整っているのが電気電子工学科の特徴です。マイクロ波工学研究室ではネットワークアナライザという機器を使って、電波による癌治療に役立つ高度な研究に取り組んでいます。

II 2 年次から本格的な実験に取り組める

今年度から臨床工学技士課程が設置され、学びのフィールドがさらに広がるとともに、将来臨床工学技士として病院や医療施設で活躍できるなど、電気電子工学科の魅力もパワーアップしました。



III 医療に携わる臨床工学技士という新たな道も



今年度から臨床工学技士課程が設置され、学びのフィールドがさらに広がるとともに、将来臨床工学技士として病院や医療施設で活躍できるなど、電気電子工学科の魅力もパワーアップしました。

IV 現場で即戦力となる資格取得も可能

必要な単位を修得すれば、特殊無線技士の資格取得、電気工事士の筆記試験免除など、さまざまな資格取得が可能なことも大きな強みだと思います。



研究なら now researching

私は、マイクロ波による人体への影響について研究しています。目にマイクロ波が当たった時どのような影響があるのか、3Dの人体精密モデルを使ってさまざまな状況下でのシミュレーションを行っています。

生命応用化学科の魅力はコレだ！

化学の力を利用して人や社会や環境に役立つ物質をつくりだす

岡崎 晟大さん

生命応用化学科 4 年
光エネルギー変換研究室

化学の知識について基礎から学べて、応用化学系・環境化学系・生命化学系といった専門領域について、より深い知識を身につけられることが、生命応用化学科を選んだ大きな要因でした。社会に貢献できる研究職に就くことが将来の夢。そのために大学院に進学し、太陽電池についてより理解を深め、必要な技術と知識を身につけたいと考えています。



生命応用化学科 4 つの特徴 >>>>>

I さまざまな分析機器が集結したセンターがある

水や土壌の有害物質を分析する環境計測センターやナノレベルの物質の特性を明らかにする分析センターの他、エキシマレーザー励起・色素レーザー装置など研究のための設備が充実しています。



II 研究に直結した実験装置を授業でも体験

あらゆる実験装置の扱い方や課題レポートの書き方など、授業を通してさまざまなことを学びました。実験で得られた知識は、研究を進めるうえで大変役立っています。

III 進路や履修状況の相談にも親身な教授陣



明るく優しい先生方が多く、授業で分からなかったことについての質問だけでなく、進路や履修状況の相談に対して的確にアドバイスしてくれます。きめ細かく手厚いサポートがあるのは、この学科の魅力だと思います。

IV 物質工学的な研究で材料開発に携われる

有機材料はできる性能や形状によって、今までにない新しい利用方法を生み出すことが可能です。物質工学的な視点で、次世代型材料開発の研究に携われるのも特徴の一つです。



研究なら now researching

私が取り組んでいるのは、有機系太陽電池の研究です。現在使用されているシリコン系太陽電池より、生産コストの低い有機系太陽電池の発電効率を高めるために、レーザーを用いた分光学的な手法による研究を進めています。

情報工学科の魅力はコレだ！

パソコンひとつでも学べることは幅広く何でもできるのが情報工学の最大の魅力

剣持 夕舞さん

情報工学科 4 年
知能情報処理研究室

情報工学の道に進んだのは、高校でWordやExcelなどのソフトを使う機会が多く、自分もそうしたソフトを作ってみたいと思ったからです。工学部なら、いろいろな人とも交流できると思いました。将来の目標は、人の役に立つソフトウェアを開発する技術者になること。人間のように話したり、複雑な思考ができるソフトを作れたらいいなと思っています。



情報工学科 4 つの特徴 >>>>>

I 自由に利用できる演習室や端末がある



情報工学科棟には、各階に自由に使える端末がある他、授業がない時間帯には演習室を利用できるという情報工学科ならではの特権があります。夜遅くまで開いているから、時間を気にせず課題に取り組めるのも魅力です。

II 個性的な先生が多いのも学科の特色

授業の進め方がとても丁寧なので、情報工学の知識がない人でも、基礎からしっかり理解することができるので安心です。面倒見の良い先生や個性的な先生が多いのも、情報工学科の特色だと思います。

III プログラミングや画像処理など幅広い技術が身につく

プログラミングの実習では、実際に動くプログラムを作成できるので面白いと思います。画像処理やネットワーク技術を学んだり、Webサイトの制作や3DCGのモデリングなど幅広い技術も身につきます。



IV 画像・ネット・ロボットまで多彩な研究分野

画像処理、ネットワーク、知能情報処理、ロボット、ソフトウェア開発、環境情報解析など、研究分野も多彩です。興味のある研究を選び、スペシャリストである先生方のもとで、深い専門知識を学ぶことができます。



研究なら now researching

遺伝的アルゴリズムを用いた最適化問題に関する研究を進めています。生物の進化の過程を模倣したアルゴリズムを使って、条件を満たす解の中で最も良いものを探し出すというユニークな研究です。

新 大学院生に！聞きました！

Q.1 大学院に進学した理由

幼い頃から自動車の部品を見たり触ったりして、自動車関連の仕事に就きたいと思い機械工学科に入りました。大学院に進学したのは、大学に入ってから風車やロハスの家を見たり、「ロハスの工学」を学んでいくうちに、機械工学をもっと深く勉強したいと思ったからです。

Q.2 大学院生の魅力は？

2年間かけて計画的に研究を進められます。実際に企業との共同研究も進んでいて、すぐに社会に役立つ研究に携われるのも、大学院生ならではの研究の醍醐味だと思います。後輩を指導する立場になり、やるべきことも増えて責任も重くなりましたが、その分やりがいも大きくなりました。

Q.3 どんな研究？

潤滑油に替わる水潤滑について研究しています。この先40年で枯渇と言われていた石油は、環境にも有害な物質。だから環境に無害で、半永久的に得られる水をセラミックスやプラスチックの潤滑剤として利用する技術開発を目指しています。これからの社会にとって絶対に必要な研究だと思っているので、モチベーションも高まります。



Q.4 大学院での目標は？

さらに研究を深めて知識・技術を磨いていきたいです。就活の武器になるように、コミュニケーション力や英語力も身につけたいと思っています。



Q.5 将来の夢は？

夢は自動車メーカーに就職し、社会に貢献できる自動車の技術者になることです。FEの試験にも合格したので、世界のメーカーとものづくりができるエンジニアを目指し、今後も勉強と研究に励んでいきたいと思っています。

企業との共同研究に携われるのは、
大学院生ならではの醍醐味

機械工学専攻 1 年
創成学研究室
川名 領さん

Q.1 大学院に進学した理由

高校から学んできた情報技術。大学ではさらに幅広い技術を身につけることができたが、より深く専門的な研究をしたかったことと、学んだことを活かして将来やりたい仕事を見つけるために、大学院に進学しました。

Q.2 大学院生の魅力は？

研究にとことん打ち込めるのが、一番の魅力です。失敗しても、時間をかけてその原因を調べて解決するまで考えることができます。また、大学院生にはTA制度があり、学部生の実習授業の指導業務にあたる中で、教えるだけではなく、自分自身も多々学べることがあり、いろいろ成長できると思います。

Q.3 どんな研究？

「方位選択性フィルタを用いたAdaBoostアルゴリズムによる目領域検出手法」という研究テーマに取り組んでいます。目だけでなく、鼻や口なども検出できるようになれば、顔領域が部分的に隠れていても、顔と判断できるようになります。応用範囲も広くさまざまな検出が可能になります。検出したいところがしっかり検出できる、そこが研究の面白さです。



より深く専門的な知識と技術を
身につけられるのが魅力

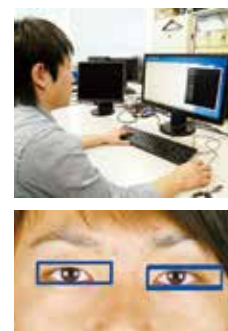
情報工学専攻 1 年
知能画像システム研究室
佐藤 正樹さん

Q.4 大学院での目標は？

学部生の時は挑戦しなかったのが、情報処理技術者試験のさまざまな資格を取得したいと思っています。さらに技術を身につけながら、将来やりたい仕事を見つけるのも大きな目標です。

Q.5 将来の夢は？

今までの知識を活かせる画像処理関連の仕事に就くことが一番ですが、社会には情報系の仕事がたくさんあるので、分野にはこだわらず、自分のできる仕事を見つけないと思っています。



● アメリカの実像に迫る学术论文をまとめた著書を出版

比較文化論を研究テーマに、文学を映画や絵画などの表現芸術と比較して、作品のテーマを明確にする研究に取り組んでいる総合教育の植竹大輔准教授。この度、これまでに発表した10本の学术论文を骨子にして書き上げた著書『名画で出会うアメリカの姿と文学者たち』を出版しました。



「移民」、「人種差別」、「彷徨する精神」そして「保守的精神」という主要な4つのテーマを中心に据えて、アメリカの歴史的出来事やその時代を作品に投影した文学者たち

を紹介しながら、アメリカの実像に迫っています。アメリカ創成期から9.11アメリカ同時多発テロ前夜までの歴史を、映画と文学の視点で追えるように、約240本の映画や数々の文学作品を引用しています。また、『風と共に去りぬ』、『ティファニーで朝食を』などの数々の名場面を写真で紹介。それぞれの時代を生きた120名の作家、脚本家そしてジャーナリストたちの時代を洞察する感性とその時代を作品に投影する創作力が読み取れます。アメリカの姿を浮き彫りにした著書として話題を集めています。



● 日本機械学会生産システム部門で優秀講演論文表彰に輝く

一般社団法人日本機械学会生産システム部門研究発表講演会2012において、機械工学科の遠藤央助教の講演が優秀講演論文表彰に選ばれました。論文題目は「再生可能エネルギー駆動型LOHAS環境エミュレータ エネルギー収支見える化システムの試作」。



遠藤助教は、ロハスの家3号の24分の1の模型を用いたエミュレータ・システムを開発し、住宅モデルにおけるエネルギー収支の「見える化」を目的に研究を進めています。ソーラーパネル、

蓄エネ用のコンデンサを備える電気自動車モデル、風力発電用の風車、日照計と照度計などが設置され、PCやモバイル端末で各設備のエネルギー状態を常にチェックでき、そのデータを1つのパソコンに集約し可視化できるシステムであることが大きな特徴です。住宅モデルに実装したことが高く評価されるとともに、製品開発にかかる時間の短縮や費用の削減に有効的な方法であるとして注目されています。



● 第17回(2013年)建築史学会賞受賞

建築学科の速水清孝准教授の著書『建築家と建築士―法と住宅をめぐる百年』(東京大学出版会、2011年)が、第17回建築史学会賞に輝きました。この賞は建築史学における優秀な個別業績に対し、過去3年間に公表された論文、著作、報告書などのうちから毎年1点のみ選ばれます。本書は、わが国の建築士法をめぐる百年の歴史を克明に調べ、この法の持つ本質に迫ったものです。西欧的な意匠設計に特化した建築家を



対象にする建築家法ではなく、広く建築技術者全体を対象として、主に日本の住宅問題解決のための法律として制定されたことを明らかにしました。「建築家、そして建築士とは何か」というこれまでの論議に対して一石を投じた、きわめて意義深い書であり、今後の設計者と技術者の法制度の在り方を見直す上で大きく寄与するものとして、高く評価されたことが受賞につながりました。



● 小型移動式発電設備「バイオマスステーション」の開発

生命応用化学科の平山和雄教授(左下写真 右)は、地元企業との共同で、小型移動式発電設備「バイオマスステーション」を開発しました。家庭の生ごみや農業廃棄物などを発酵させて発生したメタンを燃料



にエンジンで動かし発電する仕組みで、その処理能力は1か月約1.5トンで約100m³のメタンガスを生成することができます。

装置の運転や保温に必要な電力と熱は、太陽光発電などを使用。また、発酵過程で出る消化液は循環システム本体でろ過し、きれいな循環水にしステーション本体に戻して再利用します。ろ過した後に残る残留物はペレットに加工し、燃料や肥料として活用するなど、廃棄物をほとんど出さない画期的なシステムです。トラックで運べる程度に小型化した点も大きな特徴です。実用化できれば、再生可能エネルギー普及に大いに役立つことから、福島県が開発費を助成。川内村で2年間の実証実験を予定しています。



● 平成25年度日本ログハウス協会建築コンテスト奨励賞受賞

建築学科の浦部智義准教授と浦部研究室が関わったプロジェクト「KAMAISHIの箱」(岩手県釜石市の復興まちづくりハウス)が、平成25年度日本ログハウス協会建築コンテストで「軸組構法奨励賞」を受賞しました。東日本大震災で被災した釜石市の中心市街地にある2つの公園に、



仮設のまちづくりハウスとして建てられた「KAMAISHIの箱」。まちの人々が日常的に立ち寄れる集会所・インターネットカフェとして利用されています。最も特徴的な点は、従来のログハウスのよ

うにログ材を横に積み上げるのではなく、縦につなぎ合わせることで、柱的にもなる壁パネル化した構法を取り入れたことです。ログハウスの可能性を広げる画期的な提案であることが高く評価されました。また、解体して再利用できるので、復興にも役立つ技術モデルとして大きな期待が寄せられています。

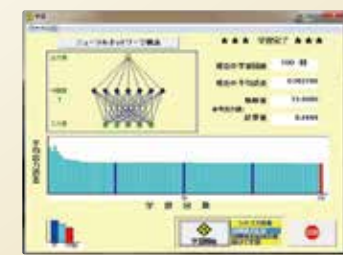


● 2012年度日本雪工学会学術賞受賞



土木工学科の堀井雅史教授は、2013年度日本雪工学会総会において、2012年度日本雪工学会学術賞を受賞しました。受賞テーマは「冬季道路における路面温度予測モデルの構築に関する一連の研究」。堀井教授は、路面凍結防止剤散布による塩害を低減し、周辺地域への環境悪化を最低限に抑えながら、効率よく冬季交通を確保することを目的に研究を行いま

した。国土交通省等が収集している国道、高速道路路面温度のデータをもとに、ニューラルネットワークモデルを使って分析を行い、3時間後の路面温度を予測するモデルを構築。それによって、道路における路面凍結防止剤の効率的な事前散布を可能にし、道路劣化の低減および環境配慮に寄与する点が評価され、学術賞受賞につながりました。この予測モデルは汎用性も高く、冬季路面管理システムとしての実用化を目指しています。



平成25年度科学研究費補助金交付者

科学研究費補助金とは、日本の学術を振興するため、優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的として、文部科学省が配分する研究助成金です。工学部では今年度、以下の研究が採択されました。

研究種目	学 科	資 格	代表者氏名	分担者 (学内)	連携研究者 (学内)	研 究 課 題 名	今年度交付額(円)		研究期間 (年度)
							直接経費	間接経費	
基盤研究(B)	土木	教授	岩城 一郎	子田 康弘	—	融雪剤の影響を受けて劣化した道路橋RC床版の診断・治療技術の構築	4,100,000	1,230,000	H24-H26
	電気電子	教授	酒谷 薫	—	—	運動療法によるストレス緩和作用の神経基盤に関する生涯発達研究	3,100,000	930,000	H23-H25
	生命応用	研究員	齋藤 烈	齋藤 義雄	—	環境応応型蛍光核酸塩基の分子設計と画期的な蛍光核酸プローブへの展開	3,600,000	1,080,000	H23-H25
基盤研究(C)	土木	准教授	仙頭 紀明	—	—	液化化後の間隙の再配分を考慮した地盤変状評価手法の開発	2,400,000	720,000	H25-H27
	建築	教授(研究所)	若井 正一	—	—	居住形態の変容からみた身体周囲のアキ寸法の動的計測と可視化に関する研究	2,200,000	660,000	H25-H27
	建築	准教授	浦部 智義	—	—	地域の中核的病院に勤務する医師の病院建築の評価に関する研究	700,000	210,000	H23-H25
	建築	准教授	速水 清孝	—	—	アントニン・レーモンドの設計手法に関する研究—戦前のスタッフとディテールを中心に	1,200,000	360,000	H25-H27
	建築	専任講師	市岡 綾子	—	—	歴史的なまち資源を活用した復興まちづくり	2,400,000	720,000	H25-H27
	機械	教授	柿崎 隆夫	遠藤 央	—	災害時における人間の動作を精密に考慮可能な集団避難行動シミュレーションの開発	2,000,000	600,000	H24-H26
	機械	教授	西本 哲也	—	—	脳神経細胞の力学損傷の定量解析による頭部傷害メカニズムの解明	900,000	270,000	H23-H25
	機械	准教授	長尾 光雄	—	—	変形性膝関節症の早期防止を目指した診断支援システム用センサおよび計測装置の開発	2,800,000	840,000	H25-H27
	電気電子	教授	天野 耀鴻	乾 成里	—	原発1基に相当するリタクタン型洋上風力発電機の適応ロバストベクトル制御系の開発	1,400,000	420,000	H24-H26
	電気電子	教授	池田 正則	清水 博文	—	SPV法によるボトムゲート型TFEにおける多結晶Si薄膜の結晶性評価技術の開発	500,000	150,000	H23-H25
	電気電子	教授	鍛野 秀三	道山 哲幸	—	臓器内「癌」治療用マイクロ波アンテナの開発	100,000	30,000	H24-H26
	電気電子	教授	渡邊 博之	—	—	自由記述式コースウェアに対応したLMSの開発と学習データの分析	600,000	180,000	H24-H26
	電気電子	准教授	四方 潤一	—	—	負誘電率領域のフォノン・プラズモン共鳴を用いたテラヘルツ波発生・検出の研究	900,000	270,000	H23-H25
	生命応用	教授	西出 利一	—	—	Petal Effectを示すハフニア薄膜の集水性の研究と集水膜への応用	400,000	120,000	H23-H25
	生命応用	教授	春木 満	—	—	3本鎖DNAを利用した新規コンビナトリアル合成レセプターライブラリーの開発	1,300,000	390,000	H23-H25
	生命応用	准教授	岸 努	—	—	SCFユビキチンリガーゼによるM期制御機構の解明	1,200,000	360,000	H23-H25
	生命応用	准教授	齋藤 義雄	—	—	新規pH応答性蛍光核酸による高感度なDNA・塩基知識別法の開発	1,400,000	420,000	H25-H27
	生命応用	准教授	沼田 靖	—	—	高含水バイオマス変換プロセスにおけるダブルビームレーザーラマン定量技術の開発	900,000	270,000	H24-H26
	情報	准教授	小林 義和	—	白井 健二	テクスチャリングによる高品位塗装技術の開発	1,000,000	300,000	H24-H26
	情報	専任講師	宮村 倫司	—	—	建築構造詳細解析の高速化のためのファイバーコースグリッドMG法の開発	1,200,000	360,000	H24-H27
	情報	研究員	白井 健二	小林 義和	—	広領域表面テクスチャ生成のための加工システムと微小変位装置の開発	1,400,000	420,000	H23-H25
	総合教育	教授	藤原 雅美	—	—	延性二相合金における重層的な強化機構と高温変形律速機構の解明	2,000,000	600,000	H25-H27
	総合教育	准教授	野田 工	—	—	実解析的アイゼンシュタイン級数を含む多重級数の研究	500,000	150,000	H23-H25
挑戦的萌芽研究	電気電子	教授	酒谷 薫	—	—	鍼灸によるストレス緩和作用の神経基盤の解明	800,000	240,000	H25-H27
	電気電子	PD	中山 誠健	—	—	ヒトが手で触れて知覚する質感と感性を定量的に評価する手法の開発	2,100,000	630,000	H25-H26
	生命応用	教授	根本 修克	小林 以弦	—	ナノスケールで金属を配置した固体高分子型燃料電池空気極用非金属担持炭素触媒創製	1,900,000	570,000	H25-H26
	生命応用	専任講師	佐藤 公俊	—	—	水素・メタン発酵消化液中のイオン浮選によるリン回収	1,800,000	540,000	H25-H27
	情報	教授	杉山 安洋	—	—	異常が発生しても実行を継続できる柔らかなソフトウェアの研究	700,000	210,000	H25-H27
	総合教育	准教授	中野 浩一	—	—	教育学における身体教育の位置づけ：二つの「身体」(生体・媒体)に基づく歴史的検討	600,000	180,000	H24-H26
	総合教育	准教授	中野 浩一	—	—	教育学における身体教育の位置づけ：二つの「身体」(生体・媒体)に基づく歴史的検討	600,000	180,000	H24-H26
若手研究(B)	土木	准教授	子田 康弘	—	—	複合劣化が生じたRC部材への補修補強における震災後の修復性を考慮した耐久性評価	900,000	270,000	H24-H25
	建築	助教	大山 亜紀子	—	—	中国南部との比較にみるベトナム北部の木造建築の独自性と展開	1,100,000	330,000	H24-H25
	建築	助教	齋藤 俊克	—	—	ハイブリッド型繊維補強によるポーラスコンクリートの耐久性の改善	1,300,000	390,000	H25-H27
	機械	助教	遠藤 央	—	—	フリンストロームステージに適合する片麻痺患者支援のための動作解析に関する研究	1,500,000	450,000	H25-H27
	機械	助教	中村 理恵	—	—	マイグレーション構造を考慮した天然繊維系複合材料の強度特性	900,000	270,000	H24-H25
	情報	准教授	溝口 知広	—	—	3次元レーザ計測に基づく大規模環境高度診断技術の開発	900,000	270,000	H23-H25
	総合教育	助教	山田 隆行	—	—	高次元データについての検定法の非正規分布に対する頑健性の研究	117,742	—	H23-H25
新学術領域研究	生命応用	教授	加藤 隆二	—	—	分光計測による光触媒反応効率決定因子の解明	1,400,000	420,000	H25-H26
合計	件数 40件(内新規15件)					小計	56,217,742	16,830,000	
						合計		73,047,742	

は、新規採択者
※分担者、連携研究者は学内者(工学部所属者)のみ表記、補助対象事業者は研究代表者・分担者とする

平成25年度父母懇談会

ご父母との連携を深め、 教育の充実を図るために

ご子女の成績や進路等についての相談の場としてご活用いただく『平成25年度父母懇談会』を5月18日(土)に開催いたしました。この行事は、ご父母の皆さまとの連絡を密にし、ご子女に関する各種のご相談や工学部に対するご意見ご要望等をお伺いし、ご子女への教育の充実を図ることが目的です。2年生以上を対象としており、今年は266組のご父母の皆さまにご参加いただきました。

70号館を会場とし学科ごとに教室を設けて、学部や学科についての紹介、生活や就職支援についての説明も行いました。ご子女が大学でどんなことを学んでいるのか、工学部にはどのようなサポート体制があるのかを知っていただく良い機会にもなっています。

個別面談では、授業の出欠や履修状況など一人ひとりの細かい資料を元に、今後の学習の進め方を指導したり、就職や大学院進学など進路についての相談に、教員が懇切丁寧に応えました。学生本人が同席する姿も数多く見られ、より実践的で実りある懇談になったようでした。



父母懇談会、工学部に対するご父母の声

ご父母の皆さまからは、『参加してよかった』という多くの感想をいただきました。また、貴重なご意見やご要望などもいただきましたので、一部ご紹介いたします。

土木工学科2年生のお父様 (埼玉県)



工学部はキャンパスがきれいで環境が良いですね。就職率も高いという印象があります。面談では、成績と今後の進路について相談しましたが、わかりやすくとても丁寧にアドバイスをいただきました。これからも学業面の指導をお願いします。

建築学科3年生のお母様 (福岡県)



本人は大学院進学を希望していますが、就職状況はどうなのかお話を聞きました。「日本大学は伝統があり規模も大きく、卒業生もたくさんいるから就職も大丈夫ですよ」と言われ安心しました。放射線に関する対応もしっかり取られていると思います。

機械工学科3年生のお母様 (東京都)



学生の良いところも悪いところもよく見ているなと思いました。東京で行われる懇談会にも参加していますが、本人も同席できるこのような個別面談は、指導してくださる先生から直接詳しくお話を聞けるので、大変なためになりますね。

電気電子工学科4年生のご父様 (福島県)



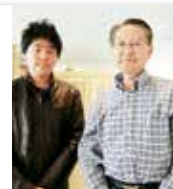
単位や修学状況、就活をどう進めていけばよいかなど、いろいろ心配していたことが聞けてよかったです。本人の意思を尊重していますので、勉強している専門分野を活かして、思った通りの就職を実現してくればよいと思っています。

生命応用化学科4年生のお父様 (群馬県)



大学院進学について相談にきました。初めて父母懇談会に参加しましたが、もっと早い段階から来ていればよかったと思います。学部や学科の紹介もスライドを使って、とてもわかりやすく説明していただきました。父母懇談会は今後ぜひ続けてほしいと思います。

情報工学科3年生のお父様 (福島県)



5年後10年後を見据えて今後どうすればよいかを考えることで道が拓けるといようなアドバイスをいただき、参考になりました。先生方が親切で、カリキュラムや進路についてしっかり考えていることがわかり、とても頼りになると思いました。

その他の感想・ご意見

- 修得単位数など具体的な資料を用意して説明してくれたのでわかりやすかった。 ● 就職についてもっと詳しい情報やアドバイスがほしかった。
- 専門分野の実験設備を見てみたい。 ● 離れているため、普段なかなか子どもと話もできなかったのが、来てよかった。
- 子どもに対する接し方について良いアドバイスをもらえた。
- 1・2年生のうちであれば転科できることを知らなかったのが、そうした制度があることを父母にもわかるように知らせてほしい。

ご父母の皆さまからいただきました貴重なご意見は、学部運営にも役立てていくよう努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻をいただけますよう、お願いいたします。また、この場をお借りいたしまして、ご参加いただきましたご父母の皆さまに感謝申し上げます。